

組合員ファーストと他組合との連携

当組合は、甲府市地方卸売市場を利用する鮮魚等の水産物の小売事業者で構成されている組合で、昭和25年に設立された歴史のある組合です。最盛期には組合員も500名近くもあり、市場からの仕入代金の精算業務である「代払精算事業」や組合員が取り扱う鮮魚以外の食品の「共同購買事業」を行い、組合の活動も非常に活気がありました。

しかし、県外大手資本をはじめとした大型店の出店により消費者の購買行動の変化に加え商流も変わったことで、我々のような鮮魚店だけではなく、様々な地元密着型の小規模小売店が激減してしまいました。

組合が求心力を失ったわけではありませんが、流通業界の構造の激変により組合員も約120名に減ってしまいました。さらに、共同購買事業の施設も老朽化が進み、さらに情報化への対応も遅れ

ています。

組合として多くの課題を抱えていますが、組合に集う鮮魚小売店の使命は、新鮮で安心できる水産物を県民に美味しく食べてもらうことだと考えています。そして組合事業は、組合員の経営を直接的・間接的にサポートし組合員の事業を発展させるためのツールだと考えています。

私は、5月の総会で理事長に就任しましたが、組合のリーダーとして、今後発生する課題に取り組む中で決断を迫られることが多くなると思います。その時には「組合員ファースト」をベースに判断して決めたいと思っています。また、私達の組合だけでは解決が難しい課題も増えており、このような時には、仲卸組合や青果組合などの関連組合とも相談し連携する中で、組合員ファーストを基本に課題解決に取り組んでいきたいと考えています。

